

この大会は、東京都教育委員会の主催で、都51の区市町村の中学校2年生で構成する、男女それぞれの選抜チームがタスキをつなぐはじめての駅伝大会です。東京都の中学校教育の一環として、健康増進や持久力をはじめとする体力向上、スポーツの振興及び児童・生徒の競技力の向上を目的として、区市町村対

第1回中学生「東京駅伝」大会開催
あきる野市選抜チームを結成。結団式が行なわれました。



結団式で健闘を誓った、あきる野市立中学校選抜チームの選手団

を応援していました。このころからまだ引越してない家に行くのも、少し楽しみになっていました。親ツバメは、ヒナにえさを与えるのに大忙しです。夜は親子で巣の中で寄りそっています。ツバメの家族も人間の家族も同じだと思います。ほくの父も家族のために思って引越を決めたのだと思います。

最初は、引越す事がすごくいやだったけど、両親の気持ちを考えて少しいやではなくなりました。今住んでいる家では、ハチが巣を作り始めました。屋根うらにはミツバチ、車庫にはコガタズメバチが巣作りにはげんでいます。コガタズ

ズメバチの巣は、つぼを逆様にしたようなめずらしい形をしています。父は、知ったかぶりをして、「トックリバチだ、トックリバチだ」と言っていました。でもインターネットで調べたら、コガタズメバチでした。家族は、声を出しておどろきました。母はすぐに、「く除しよう」と言いました。父は「いじめなければ、ささないからこのままにしておこう」と言いきました。ほくは、(ズメバチもく除しないなら、ミツバチの巣もく除しないだろう)と思いました。父は、「二ホンミツバチは数が少なくてめずらしいんだ

抗の駅伝競走を実施するものです。あきる野市では、全市立中学校6校から選手を集め、去る、2月10日に男女共に選抜チーム

ぞ。そうだ、大事にしてハチミツを採ろう。」とご気楽な事を言っていてニヤニヤしていました。父とほくと弟の三人は、うす暗い屋根うら部屋でミツバチにおびえながら、背を低くして巣を見ていました。弟は「ハチミツ美味しいよね。」とまだ探ってもいないハチミツの事を言っていました。ミツバチは八月に数千匹で突然我家に引越して来ました。ズメバチもどこからか引越して来ました。ほくの家族は、もうすぐこの家から引越します。母は「どんな所でも住めば都だよ。」と楽しそうです。

小・中学生の部を新設
1月24日(日)に、秋川体育

第15回あきる野市綱引き
競技大会を開催しました。

あきる野市の代表として、一杯のパフォーマンスを期待しましょう。市民の皆さんの応援をよろしくお願いします。

選抜チームは、3月21日(日)に晴海埠頭での本番に備え、連日、充実した練習を行なっています。

を結成し、結団式を行ないました。

部門	優勝	準優勝	3位
町内会・自治会の部	二宮町内会	戸倉西部綱引き愛好会B	中引町町内会
女子の部	山田下分レディーズ	ほうりんじママS	
一般の部	消防団1-1	増戸綱引き団	AFDチーム
小学の部 (3年生以下)	かけっこクラブ低学年チーム	あきる野市柔道連盟Cチーム	
小学の部 (4年生以上)	かけっこクラブ男子	あきる野市柔道連盟Aチーム	かけっこクラブ女子A
中学生の部	あきる野市柔道連盟中学生チーム あきる野FCアズール あきる野FCラランジャ		※勝ち負け同数のため3チーム優勝

館において、第15回あきる野市綱引き競技大会が開催されました。今回は、オープン競技として、小学生と中学生の部を新設し、全22チーム、約200人が参加して行なわれ、成績は表のとおりです。

お知らせ…「学校給食の食数及び給食納付金が改定されます。」

学校給食は、児童・生徒の心身の健全な発達や、望ましい食習慣などを養うことを目的に、学校給食法に基づき実施しています。

教育委員会では、平成22年度の学校給食について、学習指導要領の改訂による授業時数の増加に伴い、年間の給食食数を小学校5食、中学校で10食増やすこととしました。

また、給食納付金については、給食食数の増加分と牛乳価格の値上がり分も含め、表のとおり改定いたします。改定日は平成22年4月1日です。

保護者の皆様のご理解ご協力をお願いします。

問い合わせ…学校給食課秋川学校給食センター係 電話 558-1123

学校給食の食数及び給食納付金の改定内容

		給食食数(年間)		給食納付金(月額)	
		改定前	改定後	改定前	改定後
小学校	1年生	174食	179食	3,800円 (4月分2,400円)	4,050円 (4月分2,450円)
	2年生 ～ 6年生	180食	185食	3,800円	4,050円
	中学校	170食	180食	4,200円	4,600円

平成22年度 あきる野市教育委員会の教育目標

あきる野市教育委員会が平成22年度に取り組む、教育目標と基本方針並びに取り組むべき基本施策が決定しました。「人が育ち 人が輝く あきる野の教育」を施策展開の推進スローガンに掲げ、4本の基本方針を柱に、27本の基本施策を定めて推進していきます。

また、特に強化・推進を図る施策として、「特別支援教育の推進」を中心に、11本の重点施策を明確にしました。これらの施策の推進にあたり、おとなが率先して良い手本を行動で示す「おとなが手本のあきる野市」を関連づけて取り組み、あきる野市全体の教育の質の向上を図ります。

教育目標

人が育ち 人が輝く あきる野の教育

あきる野市教育委員会は、人権尊重と社会貢献の精神を基調とし、あきる野市民憲章に則してすべての市民が豊かな自然や伝統・文化に誇りをもち、生涯を通じて学ぶことのできる生涯学習社会の実現を図る。

その中で、家庭、学校、地域社会がそれぞれの役割と責任を自覚し緊密な連携のもとに、子どもたちが心身ともに健康で、豊かな人間性と創造性及び未来をひらく学力を兼ね備えた市民として成長し、「人と緑の新創造都市」あきる野市の発展に貢献することを期して、教育を推進する。

あきる野市教育委員会の基本方針及び基本施策
おとなが手本のあきる野市

基本方針1 人権尊重と社会貢献の精神をはぐくむ教育の推進

すべての市民が、自他の人権について理解を深め、責任を自覚し、協力し合い、ルールを守り、安心して社会生活を送れるよう、人権尊重と社会貢献の精神を育成する教育を推進する。

【基本施策】

- (1)人権尊重の理念を市民に定着させ、偏見や差別のない社会をつくるために人権教育を推進する。
- (2)子どもが、社会生活の基本的なルールを身に付け、「思いやり」や「助け合い」、「敬い」の心をはぐくむために、体験を重視した心の教育を推進する。
- (3)子どもが、地域社会の一員としての自覚をもち、一人一人が役割を果たして、広く社会に貢献しようとする心を育てる教育を推進する。
- (4)いじめや暴力行為、不登校などへの対応として、学校・家庭・地域・関係機関の連携のもと「いじめ・不登校0(ゼロ)への挑戦」に取り組み、互いに認め合い、共に学びあう学校づくりを推進する。(重点施策)

基本方針2 豊かな人間性と創造性及び未来をひらく学力をはぐくむ教育の推進

子どもたちが、国際社会に生き、社会の変化に主体的に対応していくために、基礎的な学力の定着及び向上を図り、個性と創造性を伸ばす教育を推進する。

【基本施策】

- (1)基礎的・基本的な学力の定着及び向上を図り、子どもの自ら学び、自ら考える力を伸ばすために、個に応じた多様な教育を推進する。(重点施策)
- (2)家庭教育の支援を進め、家庭における基本的な生活習慣の形成、家庭学習の習慣化を図る。
- (3)学校、家庭における「食」に関する指導、助言を行うとともに、家庭、学校、地域と連携して「食に関する教育」を推進する。